

推進地域としての取組

1 取組のねらい

高等学校への進学率がおよそ98%に達している今日、生活体験や社会体験が乏しい中、自己中心的で人間関係を結ぶことが苦手な、ストレスや挫折に弱い高校生を生んでいるという指摘がなされて久しい。

千葉県では平成11年9月に千葉県教育長期ビジョン「千葉の教育“夢・未来2025”」（9つの基本テーマと51の施策）が策定された。その中で、「人との関わりでの体験」、「学校内外での奉仕活動・体験活動の機会の充実」、「地域の教育力を活用した社会体験学習の推進」、「就業体験を行い高い職業意識等を育成」などが謳われている。また、ちば2003年アクションプラン(案)でも「青少年体験活動推進事業」が計画されているところである。

このような状況の中で本年度この事業「平成14・15年度豊かな体験活動推進事業」の推進校を引き受けることとなった。

本事業を推進するに当たり早速編成された「豊かな体験活動推進地域協議会」において、以下のねらいと方針が設定された。

各学校や地域の人々との連携融合を進める中で、児童生徒が本市にある豊かな自然や伝統文化を体験することにより、心豊かな児童生徒を育成する。

また、大山千枚田保存会を中心とする棚田文化活動が現在脚光を浴び、これを契機に都市との交流が広がりつつあるので、これとの連携を模索する。

小中高の連携に係る活動については以下の3つを重点活動内容とする。

ア 小中高で草花を栽培しての地域への花一杯運動

イ 小中高の児童生徒の触れ合う会（高校の文化祭への参加）

ウ 中高生を対象にした講演会・音楽会等

2 推進地域の概要

本事業の推進地域鴨川市は房総半島の東南端に位置し、1年を通じて温暖な気候に恵まれた、風光明媚な南房総国定公園の観光拠点都市である。推進校のある地域は「長狭米」で有名な穀倉地帯である。高齢化、過疎化現象に一層拍車がかかり、児童生徒数は激減している。古より由緒ある地であり、県指定無形文化財の「羯鼓舞」や「流鏝馬」等の伝統文化を継承している地域である。近年、千枚田保存会を中心とする棚田文化活動が注目され、都市部との交流が芽生えつつある。国際的な尺八の演奏家・作曲家や陶芸家、画家、作家など、文化人が居を構えている。

文化施設に乏しいのが難点の一つである。

3 推進校の概要

【鴨川市立主基小学校】児童数 111名 教職員数 13名

【鴨川市立吉尾小学校】児童数 71名 教職員数 13名

【鴨川市立大山小学校】児童数 58名 教職員数 11名

【鴨川市立長狭中学校】生徒数 167名 教職員数 18名

昭和41年に主基・吉尾・大山の3中学校が統合されて長狭中学校となった。

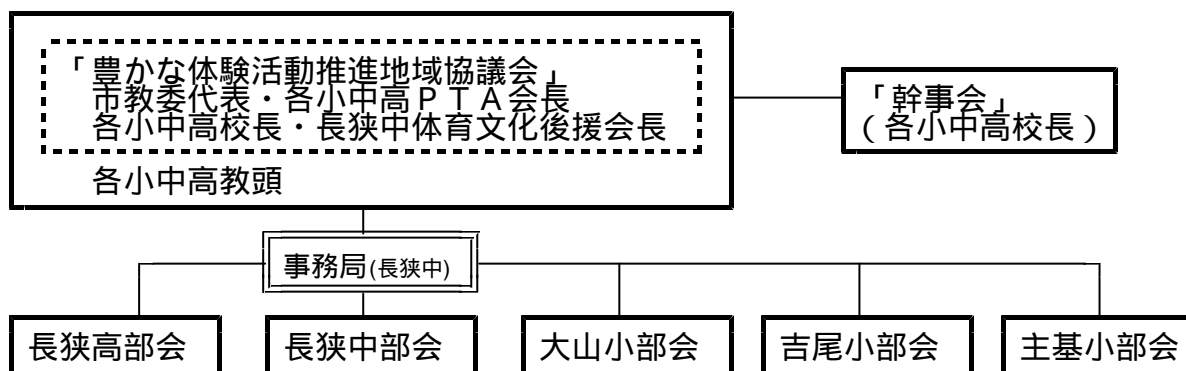
以上いずれの学校も地域の人々の教育への関心は高く、学校の教育活動に大変協力的である。

【千葉県立長狭高等学校（全日制）】生徒数 880名 教職員数 66名

男女共学の定時制を併設する普通科高校である。本年度創立80周年を迎えた。学区は広く、内房（東京湾側）の鋸南町から外房（太平洋側）の御宿町までにわたっている。かつて、吉尾小学校の隣接地に本校の分校があった時もある。交通事情等の変化により若干流れに変化が見られるようになったが、本校在籍者のうち長狭中学校の卒業生はおよそ7%、長狭中学校を含む鴨川市教育委員会管轄下の3中学校（江見中・鴨川中・長狭中）の卒業生はおよそ35%を占めている。

4 推進体制

平成14年3月上旬にこの事業の話が持ち込まれ、受諾することが決定した後、急遽推進体制づくりに入った。推進校のうち小中学校は「平成11・12年度夢を育む教育」の実践経験があったので、その経験を生かして組織が編成された。その後次のように整理された。



活動推進に当たっては、少ない会議で効率的に協議が進められるように、また、外部機関等々の連絡調整がスムーズにいくよう、推進地域協議会に調整役の教頭を入れ、事務局を置くこととした。小中校長については教育委員会主催の市校長会議あるいは中学校区の地区校長会議で定期的に会うこともあり、その中で本事業の推進の進展状況や今後の見通し等について協議したこともある。事前協議、役割分担の明確化、安全の確保及び事故等の対応についての社会福祉施設等学校外機関との連絡は計画に基づいて事務局が当たり、その結果を関連推進校に流すようにした。

本校の実践

1 活動のねらいや方針

「豊かな体験活動推進地域協議会」のねらいと方針を受けて、本校のねらいと方針を以下のように設定した。

小学校・中学校・高等学校間の交流や地域の人々との連携融合を進める中で、地域の豊かな自然や伝統文化及び施設等を生かした体験活動を通して、社会性を身に付けた心豊かな生徒を育成する。

小中高の連携に係る3つの重点活動を実施する。

2 学校支援委員会の組織及び運営等について

本校における事業推進にあたり「学校支援委員会」を次のように組織し、活動を推進した。

長狭高部会	学校支援委員会	
	校長 教頭 事務長	教務主任 総務部主任 進路指導部主任 生徒指導部主任 生徒会担当 第1学年主任 第2学年主任 第3学年主任
	PTA 会長 PTA 地区委員長 PTA 学年委員長 PTA 進路委員長 PTA 成人教育委員長	青少年健全育成鴨川市民会議会長 鴨川市国際交流協会会長

3 活動の概要

(1) 小中高連携の体験活動

活動の種類・内容	期間・日数 単位時間数	教育課程上の位置付け
交流に関わる体験活動 「蒼風祭」(本校文化祭)への小中学生の参加 関係推進校全児童生徒・職員にリーフレットを 配布し文化祭の催し物に参加してもらうととも に、近隣学区小学校児童の環境に係る絵画を展 示する。	1日	特別活動
複合した体験活動 (3 勤労生産 6 交流) 花いっぱい運動(高齢者との触れ合い) それぞれの学校で栽培した草花の苗を持ち寄 り、小中高の縦割り班と高齢者で草花の移植を する。	(栽培・通年) 4時間	特別活動

(2) 中高連携の体験活動

活動の種類・内容	期間・日数 単位時間数	教育課程上の位置付け
文化や芸術に関わる体験活動 芸術鑑賞会(演劇)への中学生の参加 シェイクスピア・シアター公演 「間違いの喜劇」(昭和63年度文化庁優秀舞 台芸術奨励公演)作 W. シェイクスピア 訳 小田島雄志 演出 出口 典雄 を鑑賞する。	4時間	特別活動

(3) 本校独自の体験活動

活動の種類・内容	期間・日数 単位時間数	教育課程上の位置付け
ボランティアなど社会奉仕に関わる体験活 動 クリーンキャンペーン2002に参加し、海岸 清掃等を行う。	3時間	特別活動
複合した体験活動 (1 ボランティア 6 交流)	4時間 4時間	(長期休業中)

近隣福祉施設（高齢者・障害者）との触れ合い体験活動（納涼祭・クリスマス会）		
自然に関わる体験活動 地域の自然観察等 長狭平野，大山千枚田，嶺岡山系等の自然などについて説明を受けたりしながら自然体験を行う	1日	特別活動
交流に関わる体験活動（国際交流） 体験留学生との交流 オーストラリアからの体験留学生のホストファミリーを引き受けた家庭の生徒所属学年・学級を中心に交流する。	第3学年 10日間 第2学年 5日間 第1学年 8日間	全教科及び特別活動等
ボランティアなど社会奉仕に係る体験活動 海外におけるボランティア活動に係る講話 亀田病院研修指導医のソマリア，ルワンダ，ネパール，コソボ，アルメニアなど紛争地帯におけるボランティア経験についての講話を聴講する。	1時間	英語

活動の成果

- 1 生徒は，居住地域外の様々な人々，異年齢の多くの人々と触れ合い，つながりができた。
 - 2 それぞれの体験活動に参加した生徒は充足感を感じるとともに，ほんわかとした豊かな気持ちを感じたり，感動を体験できた。
 - 3 小中校生及び保護者，地域の人々の高校生・本校生徒への認識に変容が見られるようになった。
 - 4 連携に係る活動で高校生が（日ごろ目立たない生徒も）リーダーシップを発揮できた。
- 等があげられる。また，「せっかくできたこのつながりを以後もずっと続けていけたらいいな，広げられたらいいな。」等の声を耳にする。これらのちょっとしたことが，小中ばかりでなく高校を含んでのより一層の地域に根ざした学校づくりにつながっていってくれることを期待したい。

今後の課題

今年度本事業の展開に当たって，教育課程上，高校では主に特別活動の時間のホームルーム活動と学校行事に位置付けて実践することが多かった。

- 1 活動時間の確保と教育課程への位置付けをどう図るか（活動への参加者の調整も含む）
 - 2 本事業活動の生徒の豊かな人間性・社会性育成への効果をどう評価するか。
 - 3 本事業に関する啓蒙・理解・協力をいかに図っていくか。
 - 4 本事業に関わって成果の上がった活動を今後いかに継続していくか（研究指定終了後も）
- 等々が課題としてあげられる。